

広瀬川の水量減少を補うため ～「愛子ため池及び斉勝沼」から増放流を開始～

梅雨明け直後から猛暑が続き、名取川水系広瀬川において、水量が減少しており、仙台河川国道事務所では7月26日に「渇水対策支部（注意体制）」を設置し、また7月27日及び8月17日には「名取川水系渇水情報連絡会（広瀬川部会）」を開催し、情報交換を行ったところです。

7月29日からは、名取川から広瀬川へ0.4m³/sの導水を現在も継続中ではありますが、8月23日現在、広瀬橋地点（基準観測所）における水量は、約1.0m³/s（11時時点）に減少しております。

このような状況から、本日8時より部会構成員である仙台市及び関係団体の協力を得て、「愛子ため池及び斉勝沼」から増放流（約0.1m³/s）し、広瀬川の水量の一部を補うこととしました。

■ 愛子ため池（仙台市青葉区愛子地内）

- ・有効貯水量 約 108 万 m³
- ・用途はかんがい用
- ※ 23 日現在の貯水率は約 20 %

■ 斉勝沼（仙台市青葉区愛子地内）

- ・有効貯水量 約 27 万 m³
- ・用途はかんがい用
- ※ 23 日現在の貯水率は約 70 %

■ 増放流の期間（予定）

- 0.1m³/s の増放流で約 2 週間程度
- ※ 斉勝沼の貯水量の約 50% を使用した場合

《参考》

現在のところ、広瀬橋地点下流において*瀬切れは見られません。

※瀬切れとは・・・

川の水の流れが途切れた状態をいい、魚類のへい死など河川環境に多大な影響が想定されます

<添付資料> 位置図

※発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

名取川水系渇水情報連絡会（広瀬川部会）事務局

国土交通省 仙台河川国道事務所
仙台市太白区郡山 5 丁目 6 - 6

（河川）副所長 本多 吉美

河川管理課長 畑山 作栄

Tel (022)-248-4131

位置図

流況改善区間

